

科目名: <b>ドラッカーに学ぶマネジメント</b>		科目コード	AA44
科目主査: <b>豊田 貞光</b>		単位	2
担当講師: <b>豊田 貞光、松本 久良、 溝井 伸彰</b>		配当年次	2
授業の目的と概要	グループワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	個人ワーク: <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	カク・マイクの必要性: <input type="checkbox"/> 必須 <input checked="" type="checkbox"/> 望ましい <input type="checkbox"/> 不要
<p>ドラッカー(Peter F. Drucker:1909-2005)が述べている「マネジメントの基本と原則」は、現代社会においても組織をマネジメントする上で、基本とすべき考え方と言えます。本科目では、ドラッカーの著書『マネジメント:エッセンシャル版』を紐解きながら、自らの国、経済、社会、技術、市場、組織体、労働者が直面する課題は何か、そしてそれに適用していくマネジメントについて、ドラッカーが示している基本と原則とはどのような内容かなどを学習します。</p>			
履修の前提となる科目	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	科目名:	
履修の前提となる知識 その他特記事項	本科目はドラッカーのマネジメント入門コースです。授業を通じて日常の問題意識を顕在化させ解決する姿勢があれば十分適応できます。事前にテキストを熟読し、わからない点や自信のない点があったら、マーキングして臨んでください。		
テキスト	『マネジメント【エッセンシャル版】基本と原則』P.Fドラッカー,ダイヤモンド社,2001年		
この科目の到達目標	<p>①ドラッカーのマネジメントの基本と原則に関する知識や意味を理解し実践面での課題を提示できる。 ②実際の職場などで起きるマネジメントに関する課題を解決する意欲を持ち、多くの意見を受容し問題点を指摘することができる。</p>		
成績評価の方法	最終試験は論述設問が3問です。基本的に講義に集中していれば解答に困惑することはありません。出席状況や、課題の質を重視します。また、積極的な質問も評価します。		
事後学習	テキストや演習等で学習したことを深めるためには、他の教え(理論や手法、メソッドなど)を学び、比較検討しノートにまとめることが重要です。 ドラッカーの他の書籍や論文を読んでみることで本科目の内容が深まります。		
事後学習の参考文献	『プロフェッショナルの条件』P. F. ドラッカー,ダイヤモンド社,2000年 『現代の経営』P. F. ドラッカー,ダイヤモンド社,2000年 『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら』岩崎 夏海,ダイヤモンド社, 2009年		
スクーリング受講時に用意するもの			
<input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具			